



韓国の船社等への訪問について

弊社は、名古屋港管理組合及び名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社(NUCT)とともに、2024年5月19日から24日までの日程で、韓国のPANSTAR、南星海運、東暎海運、天敬海運、高麗海運、長錦商船、興亞LINE、HMM、仁川港(仁川港湾公社)、釜山港(釜山港湾公社、韓進釜山コンテナターミナル)を訪問し、各社・団体の皆様と親しく懇談しました。

弊社の代表取締役社長の佐藤、名古屋港管理組合の鎌田専任副管理者並びにNUCTの角代表取締役社長は、各船社に対して名古屋港への寄港に感謝の意を表するとともに、名古屋港の概要や取組みを説明し、多数の韓国航路の利用船社を有する鍋田コンテナターミナルの特長と今後の取組み方針を紹介しました。各船社からは、現在の経営環境や今後の経営戦略等興味深いお話を伺い、サイバーセキュリティや脱炭素の取組み等について意見交換しつつ、名古屋港に対するご要望もお聞きしました。

仁川港の港湾管理組織である仁川港湾公社(IPA)では、仁川港のフェリーターミナル・コンテナターミナルの現況や将来計画等をご説明して頂き、相互に意見交換を行うとともに、同社のアテンドにより、フェリーターミナルを視察させていただきました。

また、釜山港の港湾管理組織である釜山港湾公社(BPA)では、2,200万TEUを超える取扱いや最新鋭の自動化CTを誇る釜山新港の特徴や将来ビジョンの説明を受け、相互に意見交換を行いました。続けて韓進釜山コンテナターミナル(HJNC)を視察させていただき、同社のRMGの遠隔操作や安全対策のシステムについてもご説明いただきました。これらの港湾の視察は、今後の名古屋港のコンテナターミナルの管理運営において、非常に参考となるものでした。

弊社は、今回の訪問での経験を活かし、引き続きお客様のニーズにお応えできるようにコンテナターミナルの効率性やサービス向上に努めてまいります。

問い合わせ先

名古屋四日市国際港湾株式会社

経営企画部 飯尾

運営部 石黒

TEL 052-651-7585

FAX 052-651-7586

<PANSTAR(ソウルオフィス)>



<左から右に鎌田専任副管理者（名古屋港管理組合）、Kang 社長（PANSTAR）、
弊社佐藤社長、Eom 副会長（PANSTAR）、角社長（NUCT）>

<南星海運(NAMSUNG SHIPPING) 東暎海運(DONGYOUNG SHIPPING) >



<左から二人目 Baek DONGYOUNG SHIPPING CEO>

<天敬海運(CK LINE)>



<左から四人目 Oh 常務>

<高麗海運(KMTC)>



<左から二人目 SUNG 常務>

<長錦商船(SINOKOR)、興亞LINE(HEUNG A LINE)>



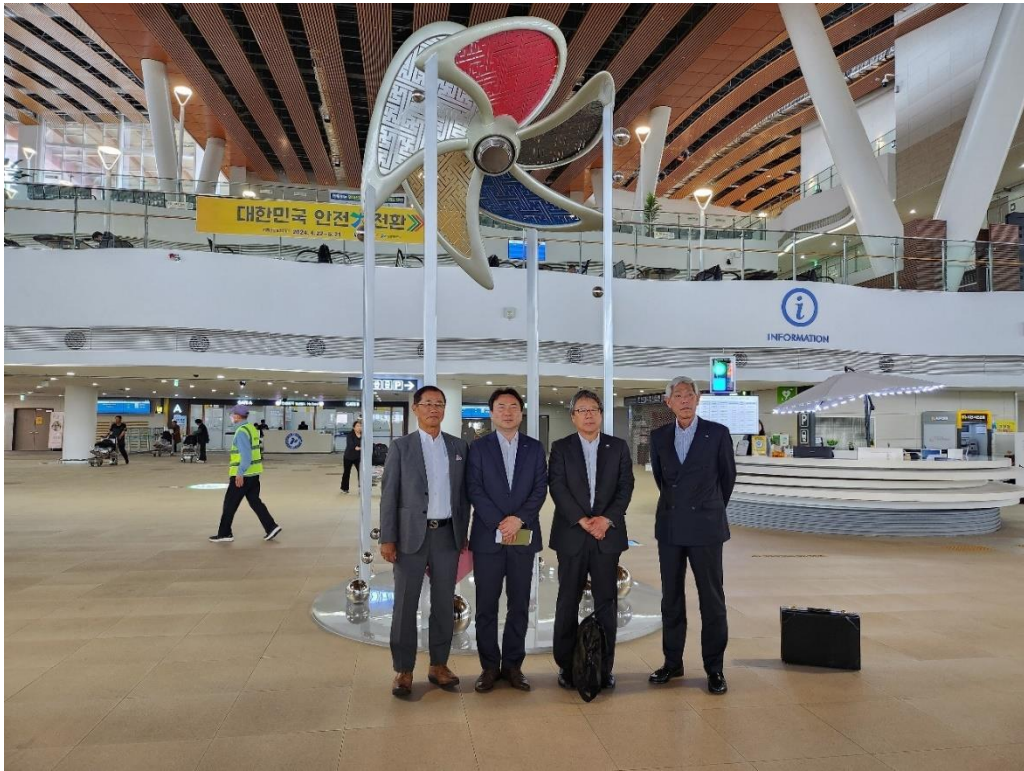
<左から四人目 Son 興亞LINE 常務>

<HMM>



<左から三人目 Yun senior manager>

<仁川港湾公社(IPA)>



<左から二人目 PARK Director>

<PANSTAR(釜山)>



<左から五人目 Kim 会長>

<釜山港湾公社(BPA)>



<左から三人目 Jang senior director>

<韓進釜山コンテナターミナル(HJNC)>



<左 KIM CEO>